

広報

# いちき串木野



別れと出会いの季節に  
添えるこの一冊。

R8. 3. 23 発行

3

vol. 245



廃校する生冠中学校で  
卒業生と在校生が給食を囲む

LINE

いちき串木野市公式LINE

イベント情報など配信中！ぜひご登録ください



特集 継承する地域の祭り

# 継承する 郷土芸能

本市には、国指定の七夕踊、県指定のガウングウン祭、太郎太郎祭など14の郷土芸能があります。それぞれの郷土芸能には保存会や伝承会があり、伝統行事を守り、次世代の若者に伝えるために様々な工夫を凝らして活動しています。

今回は、工夫している団体の取組や、学校、市の取組について紹介します。

## 郷土芸能の工夫した取組例

### 七夕踊

例年8月上旬に開催していましたが、真夏の暑さによる影響を考慮して、昨年は10月5日に開催しました。伝承会の方々が中心となり歌と太鼓を奉納しました。また、8月2日に開催されたサマーフェスタに出演、PR活動も行いました。



### 祇園祭

山車の中に入る女形の弾き手（小学生）や山車の引き手を地域の他公民館に拡大して、存続に向け人員確保をしています。



### 虫追踊

毎年秋分の日に実施。20年ほど前から市来農芸高校の生徒が踊り手となって参加し、存続に向けて重要な役割を果たしています。保存会は、生徒の送り迎えなど支援しています。



### ガウングウン祭

昨年度から串木野高校の生徒が祭りの日に店を出店、ガウングウン祭にちなんだお菓子を販売し、売り出すと即完売になるほど大変好評でした。



### 川上棒踊

地域を中心に活動していましたが、川上小学校の児童が棒踊りを継承し、地域の方が指導者となり運動会や市子ども会大会等で披露しています。



# 学校の取組

【郷土芸能について学ぶ学習】



市来小学校では、本年度から5年生の総合的な学習で郷土芸能の学習をしています。七夕踊伝承会、虫追踊保存会の方や市職員が郷土芸能の歴史や道具等の説明、伝統行事を受け継ぐ思い等熱心に話しました。児童からは、「ほとんど知らなかったが、200年前からある祭りを知ってびっくりした。今回の話で、興味が出てきた」などの感想がありました。

## 各団体と市の取組

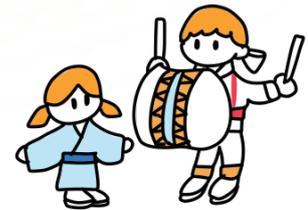
【郷土芸能保存団体情報交換会】

11月12日、市内13団体の郷土芸能保存会が集まり、各団体の課題や今後に向けて協議する話し合いを実施しました。それぞれの団体から現状について話があり、どのようにして次の世代に継承していくかなど熱心な話し合いがなされました。市は、今後も各団体と連携・協力しながら継承に向けた取組を推進していきます。



〈情報交換会で出た主な意見〉

- ・小学生に太鼓を触ったり叩いたり実際体験する活動して興味を持ってもらう
- ・中学校の文化祭や生涯学習大会等で披露できないか
- ・郷土芸能を学校の授業やクラブ活動に取り入れられないか
- ・テレビや新聞を活用して広く広報できないか
- ・若い方が参加しやすい環境づくりが必要である



## 担い手も、観客も 楽しめる形に

歴史ある七夕踊は、七夕踊保存会が継承してきましたが、担い手の減少などで、2022年その歴史に一度幕を閉じました。その七夕踊を今の時代に合わせて継承している吉村さんにお話を聞きました。



七夕踊伝承会 会長  
吉村 正直 さん

「私も小さい時から参加してきた歴史ある行事で、太鼓踊りだけでも残そうと、伝承会を立ち上げました。新しい時代に合わせて、参加しやすく、踊り手や観客、皆が楽しめることを念頭に活動しています。

具体的には、毎年8月に実施していたのを暑さを考慮し、去年は10月に開催したり、太鼓を持ちやすいものに変えたり、踊り手の子どもたちに手作りのキーホルダーをプレゼントしたり、少しでも楽しめる工夫を考えています。

また、年に1度の踊りではなく、他の行事とのコラボや小中学校での体験の場などを増やしていきたいです。

「今後も時代に合わせて、子どもたち、自分たちも楽しめるように考えながら、この伝統芸能を継承していきたいと思っています」



# 学校再編



— 串木野中学校開校準備委員会 —

新串木野中学校について、制服や部活動、通学方法など最終決定した情報をお知らせします。

令和8年4月1日に串木野中学校、串木野西中学校、羽島中学校、生冠中学校を再編し、新たな串木野中学校を設立します。

## 制服

● 串木野西中学校で採用しているブレザーに決定しました。

※ジェンダーレス等の社会情勢を考慮し、スカートやスラックスを自由に選ぶことができる制服です。

● 串木野中学校、串木野西中学校、羽島中学校、生冠中学校の既存の制服を新串木野中学校でも着用できます。

- ・着用期限は設けません。
- ・新入学生も譲り受けた既存の制服を着用できます。



西中の制服

## 体育服・体育館シューズ、カバン、通学靴等

● 新2～3年生は、既存の中学校で使っているものを使用できます。

- ・譲り受けたものでも使用できます。
- ・使用期限は設けません。
- ・買い替える場合は、串木野中学校で規定するものを購入してください。

● 新1年生は、串木野中学校で規定しているものを購入してください。

- ・譲り受けた既存の中学校のものがあれば使用可能です。
- ・使用期限は設けません。



串中のカバン



## 部活動

- ・令和8年度当初の部活動は、再編前の4中学校で活動していた部活動をベースとして設置します。ただし4月時点で部員のいない部活動は開設しません。
- ・新たな部活動は、新中学校になってから生徒の要望がある場合、顧問、指導者の状況等を考慮し、設置を検討します。
- ・会計は、「現1～2年生の新チームに移行してからの積立金を持ち寄り、それ以前の繰越金は各学校で清算すること」を軸として、部活動ごとに調整します。
- ・公式試合では、串木野中学校のユニフォームを着用します。練習や非公式試合時は旧校名の入ったユニフォームでも可能です。

## PTA会費

- ・令和8年度PTA会費の4月から8月までの利用見込みとして、1人当たり2,500円を、新2～3年生は3月までに、新1年生は入学後4月に徴収します。
- ・生徒数、必要額等を考慮し、令和8年度PTA会費は5月のPTA総会で年会費を決定し、総会后に残額を徴収します。

## スクールバス



### ① 運行計画

路線	運行業者	運行日	乗降場所
荒川・旭	鹿児島交通(株)	平日 / 土曜授業日	寺村、鉾山入口、芹ヶ野、金山峠、野下口
		土曜日 / 夏・冬・春休み	運行なし
羽島	山光交通(有)	平日 / 土曜授業日	下山、羽島交流センター、羽島郵便局前、横須、白浜
		土曜日 / 夏・冬・春休み	下山、羽島交流センター、羽島郵便局前、横須、白浜、寺村、草良
生福	山光交通(有)	平日 / 土曜授業日	ウッドタウン、脳神経外科センター前、生福コインランドリー前
		土曜日 / 夏・冬・春休み	芹ヶ野、金山峠、野下口、ウッドタウン、脳神経外科センター前、生福コインランドリー前

- ・土曜日、夏・冬・春休み時は部活動参加者の送迎になります。
- ・平日等の登校時は原則1便、下校時は原則2便（授業終了時、部活動終了時）です。
- ・1週間に1日は部活動が休止（原則、水曜日）のため、その日の下校時のバスは1便のみです。
- ・下山～羽島交流センター間は、下山地域の羽島小学生の利用を認めます。

### ② 部活動への対応

- ・土曜日、夏・冬・春休み時の部活動の送迎は、羽島路線、生福路線ともに、登校時1便（串木野中学校8:20頃着予定）、下校時1便（串木野中学校12:10頃発予定）の往復1便です。
- ・部活動送迎バスに乗れない場合は、保護者送迎などでご対応ください。

## スクールバス運行に伴う登下校時の安全確保対策

令和8年度から串木野中学校正門前に、スクールバスの停留所を設置し、生徒の登下校時にはスクールバス3台が通行します。登下校時は、生徒数が増加することで、車の往来が激しくなることが予想されます。学校や保護者、警察等と協力し、生徒や一般の通行者に事故がないように安全確保対策を行います。

### 学校・PTAの協力

- ・学校前、学校周辺の市道への駐停車禁止の周知徹底
- ・学校周辺での見守り活動
- ・駐車場確保のため民有地借用の検討

### 警察への要望

交通安全巡回パトロールの強化

## 自転車通学

串木野中学校周辺は、危険な国道が近く、歩行者・自転車の安全性が確保できないため、**自転車通学は許可しません。**



## 令和8年度串木野中学校生徒数見込み

《令和8年2月3日現在》

	普通学級		特別支援学級		計	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
1年	4	131	-	-	-	139
2年	4	141	-	-	-	151
3年	4	150	-	-	-	163
計	12	422	5	31	17	453

学校統廃合に関して、ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

● **問合せ** 教育総務課 ☎21-5126

# 輝く市来農芸高校生

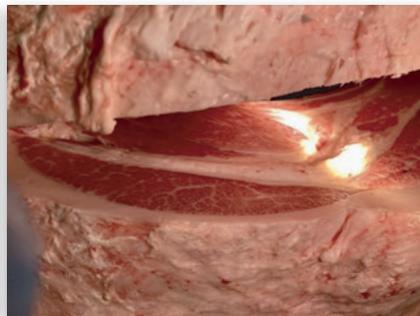
市来農芸高校生の様々な分野での日々の挑戦が評価され、各賞を受賞していますので、ご紹介します。

## 第9回和牛甲子園で最優秀賞を獲得

全国の農業高校生が、育てた和牛の肉質と、日頃の飼育への取り組み内容を競い合う和牛甲子園。今年1月に東京で開催され、本市の市来農芸高校畜産部が、総合評価部門で3回目となる最優秀賞を獲得しました。

また、和牛の肉質を評価される枝肉部門で最優秀賞を、日頃の飼育管理の工夫や活動内容を評価される取組評価部門で優良賞をそれぞれ獲得しました。

畜産部3年の宮下湧介さんは、「牛にできるだけストレスをかけないようにブラッシングを注意するなど日頃から丁寧に育て、パワーポイントでの取組発表を練習、準備してきたので、報われて嬉しい」と話しました。宮下さんら卒業する3年生の姿を参考に、1・2年生が今後も取組を引き継ぎます。



## 乳牛の美しさを競うコンテストで入賞

同じく畜産部が、北海道で開催された乳牛の美しさを競う「第16回全日本ホルスタイン共進会」にて、北海道への輸送など困難を乗り越えて、6部2等賞を獲得しました。



## 養殖コオロギを魚のエサにする研究が評価

タンパク質が豊富な養殖コオロギを魚などの飼料に活用する研究を行っている自主研究同好会が、「食品産業もったいない大賞」で農林水産省大臣官房長賞を受賞しました

魚のエサ代の高騰という課題を地域の企業と連携して取り組み、パウダー化して代替できる可能性があることなどが評価されました。



## 農業クラブ全国大会で優秀賞獲得

第76回日本学校農業クラブ全国大会西関東大会の農業鑑定競技会で、作物分野で農業科3年本鍋田優さんと、畜産分野で畜産科3年の三原愛子さんがそれぞれ優秀賞を獲得しました。本番では難しい問題がありながらも、勉強の成果を発揮しました。



# 24時間いつでもどこでも！ 公共施設予約システムがスタート！



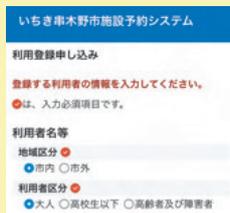
これまで窓口や電話で行われていた施設予約が、スマホやパソコンを使って、24時間いつでも、ご自宅や外出先でできるようになります。なお、施設の空き状況も把握できます。

## 対象施設

三井串木野グラウンド (多目的グラウンド)	三井串木野テニスコート (庭球場)	Fアリーナいちき串木野 (総合体育館)	市来体育館	市来武道館
B&G海洋センター体育館	B&G海洋センター武道館	NSP秀栄ドーム	中央公民館	市来地域公民館
市民文化センター	いちきアクアホール	上名交流センター	本浦交流センター	羽島交流センター
ふれんどパーク羽島	川北スポーツ公園			

## 利用の仕方

### ① 利用者登録 (初回のみ)



氏名、住所などを入力。

### ② 施設・日時を選択



希望施設や利用日時を選ぶ。

### ③ 予約確定



予約内容を確認して完了。



詳しくは上の二次元コードからご確認ください。

## 注意事項

- ・システムでの予約枠には限りがある場合があります。
- ・電話、窓口での予約も引き続きご利用できます。

● 問合せ 総務課 ☎ 33-5633

## 物価高騰対策

昨今継続する食料品やガソリン等の物価高に対応し、市民の皆様の生活支援や地域経済を活性化させるために、市では次のような取り組みを行っています。

### 暮らしワクワクプレミアム付商品券



市内登録事業者で利用できるプレミアム率100%の商品券を販売しています。75歳以上の方は無料分もあります。詳しくは、ご家庭に送付済みの購入引換券をご確認ください。

- 販売価格 1セット2,500円  
額面5,000円
- 購入限度 1人4セット
- 購入期限 6月30日
- 利用期限 3月1日～8月31日
- 販売場所

いちき串木野商工会議所 ☎32-2049  
市来商工会 ☎36-2145

### 水道料金基本料金の免除



市民、事業者問わず、全ての給水契約者の水道料金の基本料金を10ヶ月免除します。

- 減免期間 3月または4月請求分から10ヶ月  
※検針地区によって異なります
- 注意事項
  - ・申請は不要です。
  - ・使用料等は対象外です。
  - ・国、県の公共施設は除きます。
- 問合せ 上下水道課 ☎21-5155

### 子育て応援手当



児童1人につき2万円支給します。

- 対象児童
  - ・R7.9月分の児童手当支給対象児童
  - ・R7.10.1～R8.3.31に出生の新生児
- 申請手続
  - 基本的に申請不要で、順次支給(1回限り)しています。

- ※申請が必要な方
  - ・12月以降の新生児
  - ・公務員

詳しくは右上の二次元コードから。

- 問合せ 子どもみらい課 ☎33-5618



「食」を通じて、いろんなことを楽しむ、いろんなことをやってみる。人がいきいきと輝き、まちが元気になる。それが「いちき串木野市 食のまちづくり宣言」です。

本市では、食の魅力発信や食に関するプロジェクト等に積極的にかわり、市と一緒に「食によるまちづくり」を推進していく仲間として、2022年度から個人や団体を『食のまちPRパートナー』として登録しています。

食のまちづくりについて詳しくは、右の二次元コードからご確認ください。



## まちと一緒に歩むホテルとして、まちの魅力を線でつなぐ ～ 食のまちPRパートナー 吹上浜フィールドホテル 支配人 富宿智子さん ～

Text & photo Yasutoshi Kami

今回は『吹上浜フィールドホテル』支配人・富宿智子さんです。

### まちとともに歩むホテルとして、受け継いだ記憶を未来へ

吹上浜フィールドホテルは、かつての国民宿舎「吹上浜荘」が建て替えられ、2020年9月にグランピング施設としてオープンしました（ホテル棟は22年4月オープン）。

「鹿児島に根差してきた企業として、いつか恩返しをしたい」という想いで『有限会社コロソ』が運営しています。人が集まり、顔を合わせ、交流が生まれる拠点をつくることを掲げ、地域の声に耳を傾け、新たな滞在型施設として再生する決断をしました。単なる建物の更新ではなく、「まちと一緒に歩むホテル」としての再出発。それが、吹上浜フィールドホテルの原点です。



### 小さな声を拾い、食のまちづくりにつながる循環を

ホテルのメニューには地元の醤油や卵、さつま揚げなど、いちき串木野市ならではの味が並びます。



「いちき串木野市ならではの味を楽しみたい。そんな期待を持って訪れる方も多くいらっしゃいます。食材を“使う”ことが目的ではなく、食をきっかけに地域へ関心が広がっていくその循環こそが、食のまちづくりにつながると感じています。また、サービスは“お客様の声”によって充実してきました。客室には今も紙のアンケートを置き、日々寄せられる小さな声を拾い、改善に活かしています」

### 点と点を結び、まちの魅力を線に

最後に今抱えている課題と今後の展望について聞きました。

「まだ、いちき串木野市の魅力を十分に伝えきれていないのが一つ

の課題です。まちには食、歴史、文化など多くの資源が点在しています。しかし、それらがまだ“点”のまま散らばっていると感じています。だからこそ、ホテルを起点に、点と点を線でつなげていきたいです。たとえば、おすすめの飲食店や立ち寄り先を紹介し、スタッフ自身がまちの魅力を語れるようになること。そうした積み重ねが、滞在をきっかけにまちへと足を延ばしてもらうことにつながっていくと考えています。まだまだ模索中ですが、いちき串木野市を体感する拠点として、これからもまちの皆さんと連携しながら、まちの魅力をより多くの方に伝えていきたいです」



写真右が富宿智子さん。ホテルとともに盛り上げるスタッフと2ショット

これまでのおいしい情報、コラムの続きは右の二次元コードからご覧ください。



公式note